

財産収支状況書 の書き方

① 年月日

郵送で提出する場合は、郵便を投函する日を記入します。持参の場合は、申請書を提出する日を記入します。

② 1申請者名等

住所（又は所在地）、氏名（又は名称）を記入します。

③ 2現在納付可能資金額

「現金及び預貯金等」欄に、申請書を提出する日現在の預貯金等がある金融機関等の名称・支店名、上場株式等の売却が容易な財産の名称・数量を記入します。

「預貯金の名称」欄に、預貯金について、普通、当座、定期、貯蓄等の種類を記入します。

「預貯金等の額」欄に、申請書を提出する日現在の自宅や事務所等に保管している手持ち現金の金額の金額及び預貯金等の金額を記入します。

「納付可能金額」欄に、今すぐに納付することができる金額を記入します。

「納付に充てられない事情」欄に、預貯金等の額のうち、納付できない事情がある場合に、当てはまる事情にチェックします。

「運転資金」には、申請書を提出するおおむね1か月以内（以下「計算期間」といいます。）の事業に係る支出に充てる必要があるときにチェックを入れます。

「生活費」には、納税者が個人である場合で、計算期間に支出する生活費に充てる必要があるときにチェックを入れます。

「その他」にチェックを付けた場合は、その事情を（ ）内に具体的に記入します。

「現在納付可能資金額」欄には、「納付可能金額」欄の合計を記入します。

※「現在納付可能資金額」欄の金額は、直ちに納付に充てることができる金額であるため、できるだけ速やかに納付してください。納付がない場合は、猶予が不許可になることがあります。

④ 3今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)

猶予期間中における月単位の平均的な収入及び支出の見込金額を記入します。

この欄で計算した「③納付可能基準額（①－②）」を基に「4分割納付計画」欄を記入します。

【法人等で事業を行っている場合】

「法人等」にチェックを入れます。

「収入」…売上収入その他の恒常的な収入を記入します。

「支出」…仕入、従業員給与、役員報酬、家賃、諸経費、借入返済などの支出を記入します。

【個人の場合】

「個人」にチェックを入れます。

「収入」…給与及び報酬の手取り額、不動産賃料収入、その他恒常的な収入を記入します。

年金は、1か月あたりの相当額を記入します。

「支出」…申請者及び申請者と生計を一にする配偶者その他の親族のために実際に支払う生活費を記入します。

生活費の例：住居費（家賃・駐車場代・住宅ローン）、食費、水道光熱費、通信費、交際費、医療費、教育費、保険掛金、借入返済

申請者を生計を一にする配偶者その他の親族の中に、生活費を負担している人がいる場合は、「家族等の収入」と記入し、その人の負担金額をマイナスで記入します。

※「生計を一にする家族の人数（申請者本人を含む）」には、申請者本人及び申請者と生計を一にする配偶者その他親族の人数を記入します。

⑤ 4分割納付計画

「3今後の平均的な収入及び支出の見込金額（月額）」欄の「③納付可能基準額（①－②）」を基に具体的な納付計画を記入します。この欄に記入した納付計画は、申請書の「納付（納入）計画」に転記します。

イ 「月」欄 … 猶予期間中のすべての月を記入します。

ロ 「分割納付金額」欄 …

猶予期間中の各月における納付金額は、「3今後の平均的な収入及び支出の見込金額（月額）」欄の「③納付可能基準額（①－②）」に記入した金額となります。ただし、臨時的な収入又は支出がある月において、納付可能基準額よりも増額又は減額した金額により納付する場合には、その増額又は減額した金額を記入します。

例：臨時的な収入 ・不動産の売却による収入（〇〇円）のため

・借入れによる入金（〇〇円）のため

・貸付金の回収による入金（〇〇円）のため

臨時的な支出 ・製造用機械の買替えによる支出（〇〇円）のため

・家屋の修繕費の支出（〇〇円）のため

・〇〇税の納付（〇〇円）のため

記入例と

あわせてご覧ください

⑥ **5財産等の状況(1)売掛金・貸付金等の状況**

売掛金・貸付金等について、売掛先の名称、住所、金額、回収予定日（手形の場合は支払期日）、種類及び回収方法を記入します。

「種類」に、売掛金、貸付金、未収金等の種類を記入します。

「回収方法」に、現金、振込、手形、小切手等の回収方法を記入します。

⑦ **5財産等の状況(2)借入金・買掛金の状況**

「借入金等の名称」、「借入金等の金額」、「月額返済額」、「返済終了（支払い）年月」、「追加借入の可否」及び「担保提供財産等」を記入します。

「月額返済額」に、毎月の平均的な返済額を記入します。

「返済終了（支払）年月」に、借入金の返済が終了する、又は買掛金等を支払う年月を記入します。

「追加借入の可否」に、借入の枠が残っている等、追加借入ができる場合は「可」に、できない場合は、「否」に○印を付けます。

「担保提供財産等」に、借入金等のために抵当権を設定しているもの等、担保として提供している財産等を記入します。

⑧ **5財産等の状況(3)その他の財産の状況**

不動産、国債・上場株式等の有価証券、車両、敷金、保証金、保険、定期預金等の財産の種類、数量、所在地、満期日等を記入します。



財産収支状況書

記入例(個人)

①

令和〇年 2月 26日

1 申請者名等

書き方とあわせてごらんください

住所所在地	一宮市〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	②	氏名	〇〇 〇〇
-------	---------------	---	----	-------

2 現在納付可能資金額

現金及び預貯金等	預貯金等の種類	預貯金等の額	納付可能金額	納付に充てられない事情
手持ち現金	③ 現金	10,000 円	0 円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input checked="" type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他()
〇〇銀行〇〇支店	普通	80,000 円	0 円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input checked="" type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他()
		円	0 円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他()
		円	円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他()
現在納付可能資金額			0 円	

3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)

□ 法人等	見込金額	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	見込金額	
取	売上	取	給与・報酬(手取) 240,000 円	
入		入	年金・事業所得(1か月相当)	
	①収入合計	④ ①収入合計	240,000 円	
支	仕入	支	住居費(家賃・住宅ローン・駐車場代) 90,000 円	
	従業員給与		食費 50,000 円	
	役員報酬		被服費 0 円	
	家賃等		水道光熱費・通信費・新聞代(ネット料金含) 35,000 円	
	諸経費		こづかい・交際費等	
	借入返済		出	保険掛金 10,000 円
			その他ローン(事業用を除く) 20,000 円	
		医療費・教育費・養育費 15,000 円		
		家族等の収入・家族等からの借入等(マイナスで記入)		
	②支出合計	②支出合計	220,000 円	
	②支出合計	生計を一にする家族の人数(申請者本人を含む)	3 人	
③納付可能基準額(①-②)		③納付可能基準額(①-②)	20,000 円	

4 分割納付計画

月	分割納付金額	増減理由
3月	20,000 円	
4月	0 円	固定資産税・都市計画税(3万円)納付のため
5月	13,000 円	軽自動車税納付(7,200円)のため
6月	17,000 円	
7月	+延滞金 円	⑤
8月	円	
9月	円	
10月	円	
11月	円	
12月	円	
		備考

5 財産等の状況

(1) 売掛金・貸付金等の状況

売掛先等の名称・住所	売掛金等の額	回収予定日	種類	回収方法
⑥	円	・		
	円	・		
	円	・		

(2) 借入金・買掛金の状況

借入先等の名称	借入金等の金額	月額返済額	返済終了(支払)年月	追加借入の可否	担保提供財産等
〇〇リース	300,000 円	20,000 円	令和4年10月	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>	⑦
	円	円	年 月	可・否	

(3) その他の財産の状況

不動産等	土地・建物(自宅) 〇〇市〇〇町〇〇〇〇〇	国債・株式等	
車 両	自家用車(一宮580あ〇〇〇〇)	その他(保険等)	〇〇生命保険 ⑧



財産収支状況書

記入例(法人など)

①

令和〇年 2月 26日

1 申請者名等

書き方とあわせてごらんください

住所所在地	一宮市〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	②	氏名称	〇〇株式会社 代表取締役〇〇〇〇
-------	---------------	---	-----	------------------

2 現在納付可能資金額

現金及び預貯金等	預貯金等の種類	預貯金等の額	納付可能金額	納付に充てられない事情
手持ち現金	③ 現金	80,000 円	0 円	<input checked="" type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他()
〇〇銀行〇〇支店	普通	170,000 円	0 円	<input checked="" type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他()
〇〇信用金庫〇〇支店	普通	30,000 円	0 円	<input checked="" type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他()
				<input type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他()
現在納付可能資金額			0 円	

3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)

<input checked="" type="checkbox"/> 法人等	見込金額	<input type="checkbox"/> 個人	見込金額
取 売上	1,520,000 円	取 給与・報酬(手取)	
入		入 年金・事業所得(1か月相当)	
①収入合計	1,520,000 円	④ ①収入合計	
支 仕入	760,000 円	支 住居費(家賃・住宅ローン・駐車場代)	
従業員給与	420,000 円	食費	
役員報酬	0 円	被服費	
家賃等	70,000 円	水道光熱費・通信費・新聞代(ネット料金含)	
諸経費	100,000 円	こづかい・交際費等	
借入返済	95,000 円	出 保険掛金	
		その他ローン(事業用を除く)	
		医療費・教育費・養育費	
		家族等の収入・家族等からの借入等(マイナスで記入)	
②支出合計	1,445,000 円	②支出合計	
③納付可能基準額(①-②)	75,000 円	③納付可能基準額(①-②)	

4 分割納付計画

月	分割納付金額	増減理由
3月	75,000 円	
4月	15,000 円	市税(固定資産税6万円)納付のため
5月	25,000 円	県税(自動車税5万円)納付のため
6月	125,000 円	貸付金回収による入金(5万円)のため
7月	15,000 円	市税(固定資産税6万円)納付のため
8月	75,000 円	⑤
9月	75,000 円	
10月	15,000 円	
	+延滞金	
月	円	
月	円	
月	円	
月	円	
備考		

5 財産等の状況

(1) 売掛金・貸付金等の状況

売掛先等の名称・住所	売掛金等の額	回収予定日	種類	回収方法
〇〇建設株式会社	⑥ 1,000,000 円	R3・3・25	売掛金	振込
〇〇工務店	520,000 円	R3・3・15	売掛金	小切手
株式会社〇〇ホーム	50,000 円	R3・7・20	貸付金	現金

(2) 借入金・買掛金の状況

借入先等の名称	借入金等の金額	月額返済額	返済終了(支払)年月	追加借入の可否	担保提供財産等
〇〇リース	800,000 円	15,000 円	令7年10月	可 否 ⑦	
〇〇銀行〇〇支店	9,600,000 円	80,000 円	令13年10月	可 否 ⑦	

(3) その他の財産の状況

不動産等	土地・建物(会社) 〇〇市〇〇町〇〇〇〇〇 土地(資材置場) 〇〇市〇〇町〇〇〇〇〇	国債・株式等	〇〇株式会社
車 両	事業用トラック2台(一宮100あ〇〇〇〇〇 一宮100あ〇〇〇〇〇)	その他(保険等)	〇〇生命保険
			⑧